

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月31日

計画の名称	札幌市下水道 社会資本総合整備計画 ~次世代へつなぐ~ (防災・安全) (重点計画)												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	札幌市												
計画の目標	下水道の災害対策に計画的に取り組み、災害に強く安心して暮らせるまちの実現を目指す。(計画の期間はH28からR2まで) 下水道の災害対策に寄与する改築に計画的に取り組み、災害に強く安心して暮らせるまちの実現を目指す。 電力供給停止時の機能停止リスク低減策が必要な下水道施設において、対策を概ね完了する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	2,549	A	2,549	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	R2末
1	過去に浸水被害が発生した地域、開発により浸水リスクが大きくなる地域の安全度向上のため、雨水拡充管、ポンプ場の整備を525haの区域で実施する。			
	雨水対策整備面積 計画期間内に整備・供用開始した雨水拡充管・雨水ポンプ場の排水面積(ha)	0ha	469ha	525ha
2	浸水対策に係る雨水ポンプ設備等の改築を3か所の処理場で実施する。			
	実施箇所数 雨水ポンプ設備の改築設計を実施する処理場数(か所)	0か所	0か所	3か所
3	非常用電源の改築設計など大規模停電時の機能喪失リスク低減対策を2か所の処理場で実施する。			
	実施箇所数 非常用電源の改築設計など大規模停電時の機能喪失リスク低減を実施する処理場数(か所)	0か所	0か所	2か所
4	処理場及びポンプ場の耐震化を図るため、2か所の処理場及びポンプ場の躯体補強を実施する。			
	実施箇所数 耐震化として躯体補強を行う処理場及びポンプ場の箇所数(か所)	0か所	0か所	2か所

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
H28からR2までの計画である札幌市下水道社会資本整備総合整備計画~次世代へつなぐ~(防災・安全)(以下、「通常の計画」)で実施している事業と当該重点計画で実施する事業一体で成果目標を達成する。												

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	北海道	札幌市	直接		管渠(雨水)	新設	災害対策(浸水対策・東苗穂周辺地区)	東苗穂地区 L = 1.8km	札幌市						1,010	-	
		浸水被害軽減総合事業 H28からH29までは、通常の計画A07-007にて事業を実施している。																	
	A07-002	下水道	北海道	札幌市	直接		ポンプ場	新設	災害対策(浸水対策・東雁来地区)	第1期:雨水ポンプ場新設、 第2期:ポンプ設備増設	札幌市						307	-	
		H28からH29までは、通常の計画A07-009にて事業を実施している。																	
	A07-003	下水道	北海道	札幌市	直接		管渠(雨水)	新設	災害対策(浸水対策・平岸地区)	平岸地区 L = 1.2km	札幌市						1,009	1.49	-
		下水道浸水被害軽減総合事業																	
A07-004	下水道	北海道	札幌市	直接		終末処理場	改築	浸水対策に係る再構築(処理場の改築)	創成川水再生プラザ等3箇所(機械設備)	札幌市						120		策定済	
	ストックマネジメント支援制度																		
A07-005	下水道	北海道	札幌市	直接		終末処理場	改築	非常用電源の改築に係る再構築(処理場の改築)	新川水再生プラザ、拓北水再生プラザ(電気設備)	札幌市						60		策定済	
	ストックマネジメント支援制度																		
A07-006	下水道	北海道	札幌市	直接	-	ポンプ場	改築	災害対策(地震対策・ポンプ場)	茨戸西部中継ポンプ場耐震化	札幌市						15		-	
	下水道総合地震対策事業																		

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	北海道	札幌市	直接	-	終末処理場	改築	災害対策(地震対策・処理場)	豊平川水再生プラザ耐震化	札幌市						28	-	
下水道総合地震対策事業																			
											小計						2,549		
											合計						2,549		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 札幌市営企業調査審議会下水道部会	事後評価の実施時期 令和3年度
	公表の方法 札幌市ホームページ上にて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策については、東苗穂周辺地区と東雁来地区の対策が終了した。 ・雨水ポンプ設備と非常用電源設備の改築については、当初予定していた事業を実施することができた。 ・地震対策については、水再生プラザとポンプ場において、一定の耐震性を確保することができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
<ul style="list-style-type: none"> ・札幌市下水道事業中期経営プラン2025に基づき策定した「札幌市下水道 社会資本総合整備計画」を確実に実行し、引き続き積極的な国庫交付金を活用する。 ・改築事業については、水再生プラザとポンプ場の設備の改築を進める。 ・災害対策事業については、水再生プラザとポンプ場の耐震化を進める。 	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水対策整備面積	
	最終目標値	525 h a
	最終実績値	525 h a
2	雨水ポンプ設備の改築設計箇所数	
	最終目標値	3か所
	最終実績値	3か所
3	非常用電源設備の改築設計箇所数	
	最終目標値	2か所
	最終実績値	2か所
4	躯体補強を行う箇所数	
	最終目標値	2か所
	最終実績値	2か所